



# 21西尾

21世紀にかける西尾市民会議 (2026.5.11) No.158

## 3期目の市長は 傲慢になった?



No.158

ご覧下さい。ご意見もどうぞのりこのホームページ <http://www.noriko.to/>

# のりこ & のりゆきの 辛口議会だより



熊さん

「隠居さん、去年の秋、市長は「西尾市には金がない。このままでは、来年の予算も組めない。財政危機だ」と議会の全員協議会で訴えたんだつたよなあ?」

熊さん

「そう。市長は9月議会で、」

熊さん

「各部の予算の金額を去年より大幅に減らした「ワク配分方式」とやらに変え、その範囲内で、各部長に「経営感覚」を持ってやりくりしろ!」というのだよ。」

「隠居

「おっと、お前たちの責任で減らさせて...丸投げかよ。」

熊さん

「なんだい、そりや?」

熊さん

「そんなことでは、職員もついていけない。」

「隠居

「そりやそつだろ。市長が、事業実施の取捨選択をしないでどうするんだよお?」

熊さん

「ここの一番という時に大ナタを振るうことこそ、市長の責務のはずなんだがね。」

「隠居

「着ける必要があるんじゃないかい?」

熊さん

「温水プールは、まだ手がついていないんだし、急を要する話でもない。まだまだ議論も必要だ。財政状況が好転するまで先延ばしすると、市長が一言もええ済むことだ。」

熊さん

「おう、それこそ職員じゃあ判断できねえよな。」



もの大事業だ。」

熊さん

「議会には本当に必要かどうか疑問だとの声もある。市長は、手を付けちまえば異論が消えるとも思ってるのかねえ。」

「隠居

「おいおい、この時期に、上げるのかよ?」

熊さん

「予算編成も大変な時期、市民生活も大変な時期だ。多くの議員から「増額は止めるべきではないか」という反対の意見も上がったんだが、市長は歯牙にもかけない。」

熊さん

「市長は、「報酬審議会が決めてくれたのに従わないのはナンセンス。」とまるで居直るかのよう。市の予算カットや市民の生活に配慮する姿勢が見えなくて、がっかりだ。」

「隠居

「それだけじゃない。ここ数年一人を通してきた副市長も、この4月から、2人に増員だ。行財政改革の考えは全く感じられないね。」

# 子どもは減るのじ、

## 新温水プール ホントに必要??

熊さん 市が今後30年間の「西尾市の将来人口推計」を公表したが、凄腕勢いで人口（特に若年層）が減るようだぜ。17万人が13万人になっちまう。

「隠居」 そう。少子高齢化がハッキリ出てきた。中でも子どもの減り方は衝撃的だ。今の2万2千人が30年後には6千100人になるという。何と72%も減るといふんだよ。

熊さん 市の今後の事業や計画は、この人口減少を基礎にして考えなきゃならんってわけだ。

「隠居」 その通り。でなきゃ、金を使ってわざわざ調査する意味がないだろ？ 将来を見据え、どこにどう予算（税金）を使えばいいかは極めて重要だ。

熊さん 杉浦議員が、この前の一般質問で、温水プール新設の是非を取り上げたね。

「隠居」 そうだね。こんな内容だったよ。「小学校の水泳授業では、現在、ホワイトウェイブと民間プールの2か所に委託しているが、その受入可能数は260クラスとのことである。「将来人口推計」から試算すると、2035年頃からは老朽化で使えなくなる学校プールが増えるというが、同時に子どもの数も減るためクラス数は259になる。そうであれば、今の「委託」でも十分足りると考える。市としても「将来人口推計」をしっかりと検証して、プール建設を再考すべきと思うがどうかな？」

熊さん ところが「検証はしない」と、市長はけんもほろろだ。だけどもなぜそんなに急ぐんだ？

「隠居」 さらに問題なのは、施設の新設では、建設費用よりも、施設の運営・維持管理に莫大な費用がかかることだよ。

熊さん だよなあ。それ、みーんな、減少していく住民の負担になるんだろ？ それに東部地区の保育園じゃあ、岡崎市のプール業者が水あそびを請負ってるといふじやないか。東部地区の小学校もそちらでやれるならよっぽど安上がりにできるし、子どもたちの負担も少なく済む。市内には他の民間プールもあるぜ。

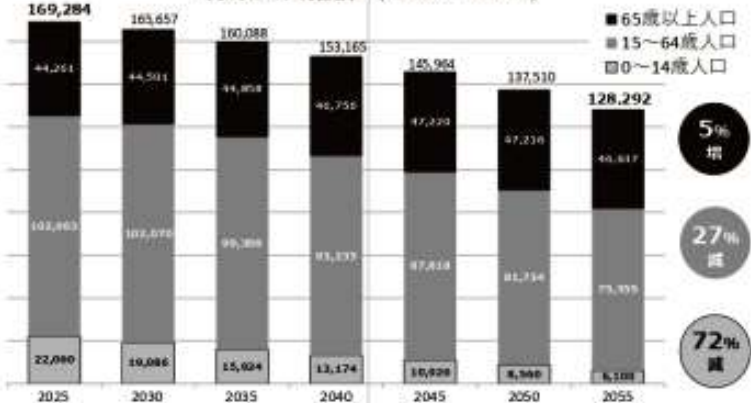
「隠居」 子ども数が減少するという新たなデータが出てきた以上、「検証」もせずに計画を進行するすれば、市長は、後に「無責任」とのそしりを免れないだろうよ。

熊さん 35もある学校施設の老朽化対策はまだ残っているし、近隣では進んでいる学校体育館の冷暖房工事は70億円もかかるんで未だ手付かずだ。新たに給食センターも必要なんだから？

「隠居」 そんなんだよ、聞けば、教育委員会では、給食センターの計画には人口減少のデータを参照しているというからね。同じ役所の中で、そんな整合性のないことが許されるのか。大問題だ！ 市長は、突っ走ればいつてもんじゃねえぞ！

熊さん

将来人口推計 (2025-2055)



# 障がい者への市の手当は

## 9,300万円も予算カット!!

熊さん 「隠居さんよオ、ワケ配分方式で予算カットさせられたのは、障がい者の扶助料だったえ？

「隠居」 そう。重度障がい者等への9300万円が削除された。重度の方には国または県から令和7年度は月額36,440円、6,750円の手当に市から4千円の給付もあったが、今回、市の分が削減された（軽度の方は月額2千円が半額に）。

熊さん 福祉関係費は毎年3億円の自然増なのにいかい？ そのよつた。健康増進部では吉原の選抜を言い、激変緩和措置をするぞつた。

「隠居」

## 市長から議会運営に申し入れ

熊さん 3月議会では、新人がドンドン発言して質疑や討論も活発だったねえ。

「隠居」 ああ、議案にも「ジャンジャン」じゃなく是々非々の判断が増えて、良い傾向だと思つよ。ところが、そこに市長が文句をつけてきたぞつた。

熊さん どういうことだい？

「隠居」 市長は「複数の議員から、現職と過去の副市長の資質や実績を否定したり、他の議員の資質や人格を否定するような不適切な言動があり、地方自治法132条（議会の品位）に反する」と言い、議会事務局にも議長への助言の強化を求めたものだった。ええ、俺ら、ずっと傍聴していたけど、そんな品位に反する言動なんて全くなかったぜ。

熊さん 市長はいくつも大きな勘違いをしている。まず、副市長人事を議会で審議する時は、議員が質疑や意見を述べること認められている。副市長は公人だから、当然、論議の対象になるし、その内容が事実であれば全く問題はない。

「隠居」 だよなあ、議案の審査には不可欠だ。そして、いやしくも議会での発言が法律に違反していると指摘する場合は、誰の、どの部分の発言かを具体的に特定しなければならぬ。そうでないと指摘が妥当かどうか判断できない。

熊さん そりゃそうだ。ただの言いがかりにしかならぬ。それに複数の議員なんて大雑把な言い方は誤魔化しだぜ。

「隠居」 市長と議会は対等の関係（二元代表制）だということ。原理原則を市長が判っていないということだ。議会のことは議長に任せるのが本筋だ。まして議会事務局は市長の部下じゃないよ。

熊さん 市長が議会に指図するなんて越権行為じゃねえか？

※二元代表制とは、首長と議員どちらも住民が直接選挙で選ぶ制度。首長は予算提案権や行政権を持ち、議会は議決権や調査権を持って監視する。